

情報系センターと附属図書館 連携と情報基盤の共通化

佐賀大学
総合情報基盤センター

只木進一

概要

- なぜ連携が必要なのか
- 佐賀大学での連携の経緯
- 連携の実際
 - 統合認証システム
 - 電子図書館
 - 図書館内への端末設置
- 困難な点
- 今後の展望

なぜ連携が必要か

- 利用者情報が共通
 - 効率的かつ正確に利用者情報を登録したい
 - 情報源(人事、教務)から一回で取得したい
 - 利用者は二つのシステムを区別できない
- 電子化された図書館業務の普及
 - 図書館業務の電算化：貸出、利用者管理
 - 図書館のサービスで認証が必要
- 情報基盤の共通化は必須
 - 合理化と利用者の利便

しかし

- 図書館は事務系職員の組織
 - 文系の組織?
- 情報系センターは教員と技術職員の組織
 - 理系の組織?
- 相互に近付きにくい
 - 変な先入観をもっている
- 一緒にやったほうが双方にとって幸せ
 - 情報基盤の統合が全てにとって幸せ
 - 利用者の利便を優先しなければ

佐賀大学での連携の経緯

- センター予算で図書館システムを補充
 - 主として端末類
 - 業務サーバ(目録など)は別予算
 - 業務サーバはセンターに設置
- 1998年NALIS導入
 - 図書館業務システムの現代化
- 1998年センター改組検討開始
 - 図書館との連携が中心課題に
 - 電子図書館機能

佐賀大学での連携の経緯2

- 2000年：学術情報処理センターへ改組
- 2001年：電子図書館システム
 - システム一体化の開始
 - 電子図書館連絡会議開始
- 2002年：統合認証システム稼働
 - 図書館業務を含むシステム更新
 - 図書館内に利用者用端末設置
- 2006年：新学術情報処理システム
 - センター演習用端末を図書館内に配置

学術情報処理センター

- 2000年度から2005年度
- 「総合情報処理センター」相当
- 教員定員4、技術職員3+1
- 事務職員併任：図書館2と総務1
- 業務として「電子図書館」「大学データベース」を整備運用
- 2006年に「総合情報基盤センター」へ改組
 - 事務情報システムも包含

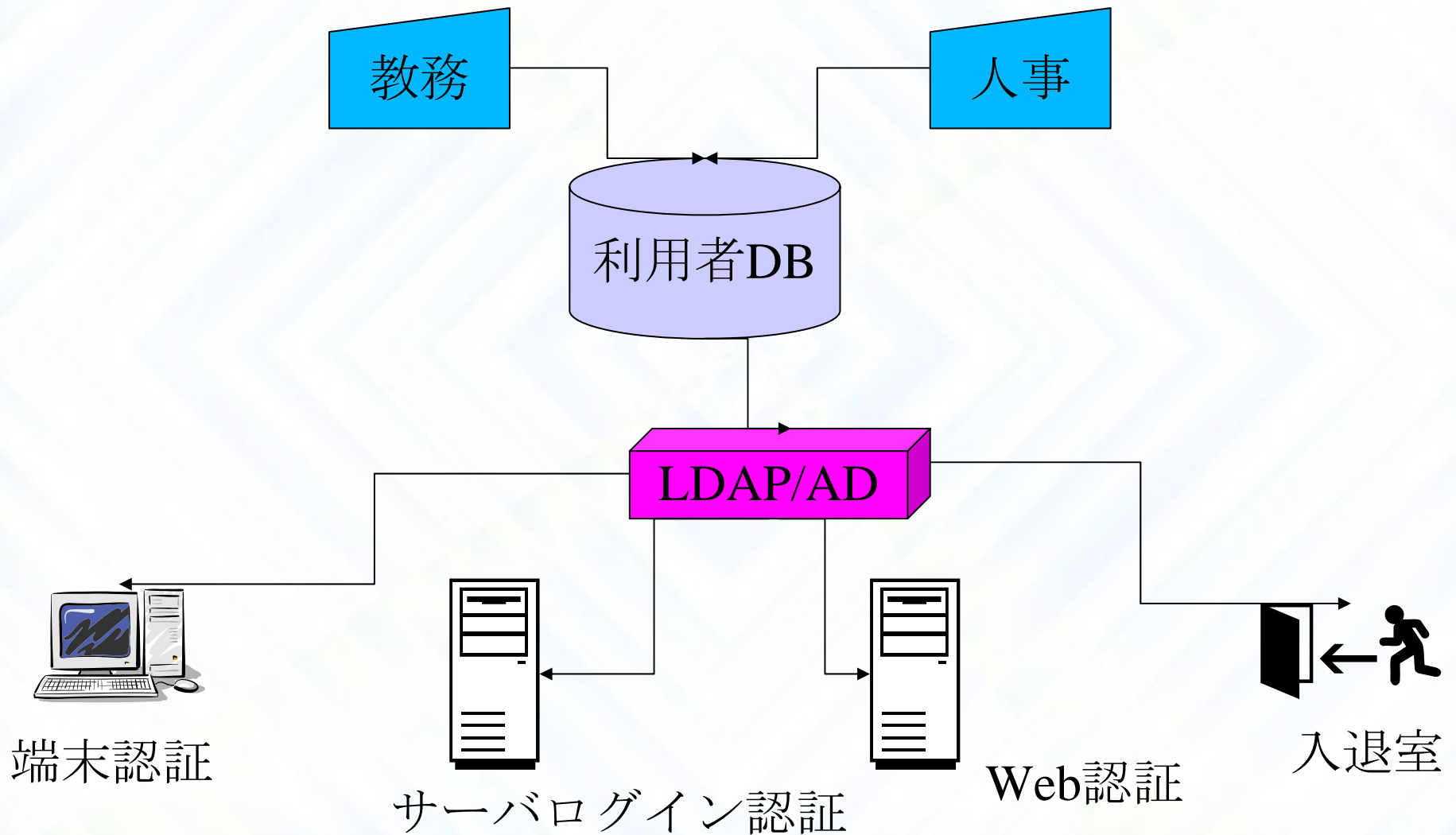
連携の実態

- 利用者情報の統合
- ネットワーク管理の一元化
- 利用者端末・プリンタの共通化
- Webサーバなどサーバ管理の統合
- 学術情報電子化での協力
- 電子図書館システムの協同運用

統合認証システム

- もともとは図書館と情報系センターの利用者情報の統合
- 全学構成員のDBに発展
- 現在は、教育研究システム、図書館システム、教務システム、事務システムなどに認証情報を提供
- **全学の情報基盤**

統合認証システムの概要





お知らせ

2006年7月11日
 貴重書コレクションに「日記目録三十二～三十四、三十六～三十七、五十一～五十六」を追加
 「日記目録三十二～三十四、三十六～三十七、五十一～五十六」を追加しました。
[...続きを読む](#)

オンラインシラバス

貴重書コレクションホームページ

研究業績メタデータベース

附属図書館ホームページ

博士論文データベース

雑誌論文データベース

教職員基礎情報

総合情報基盤センターホームページ

佐賀大学公式ホームページ

植物遺伝資源データベース

OPACデータベース

とんぼの眼仕様書等ドキュメント群

とんぼの眼システム概要

検索一覧

横断検索

とんぼの眼将来計画

とんぼの眼研究活動

とんぼの眼 Z39.50 公開仕様



困難な点

- 先入観
 - 情報システム関係部署は同じ仕事をしているんだよ。協力したら。
- 相手の能力を認める
 - 違うノウハウを持っている。
 - 自分が知らないことを認める。
- 仕事が増えるような気がする
 - 本当は面倒が減るかも
- 法人化以前の所掌

今後

- 情報システムに関わる部署は連携すべし
- 法人として対応すべし
- 情報系センターを含む情報基盤管理組織の位置付け
 - 権限、責任を明確化
- 情報基盤は法人運営の要
 - 実は、絶大な権限が集中しているかも

大学の情報基盤を担う組織

- 一貫したポリシーで情報基盤を構築する
- 部局ごとのシステムが
 - セキュリティーホール
 - 経費の無駄
 - 利用者にとって不便
- 法人化を機に
 - CIO、CISOの設置
 - センター長がCIO補佐などとして掌握

まとめ

- 附属図書館、事務情報部門、情報系センターの連携が必須
- 基本情報を把握し、保守する
- 利用者に情報システムを提供する
- 利用状況に応じてシステムを最適化する
- 外部からの要求が強まる可能性
 - 内部統制
 - 政府統一セキュリティポリシー基準